



新潟県

# 教育月報

9月号

第788号  
平成27年9月1日発行  
編集人、発行人  
新潟県教育委員会

<今月号の記事>

- 1 : 教育ニュースライン
- 2 : 魅力ある高校づくりプロジェクト
- 3 : 郷土愛を軸としたキャリア教育の推進

----- P 1  
----- P 2  
----- P 4

対象校種  
全種  
中高  
全種

## 教育ニュースライン

県教育に関する最新ニュースをお知らせします。

### 専門高校の魅力紹介！専門高校メッセ

県教育委員会は、専門高校の魅力を伝えるため、平成27年度県立専門高校メッセを8月11日、アオーレ長岡を会場に開催しました。

当日は、県立専門高校30校と長岡市域の高等学校等15校が参加し、高校生自身が各校の魅力を来場した中学生や保護者へ紹介しました。



来場した見附市の中学生は、「体験したかながけは難しかったけれど、高校生に教えてもらってうまくできた。技を持っている高校生はカッコいい。」と、その技術に感動していました。また、長岡市の中学生の保護者は、「商業高校の紹介プレゼンがよかった。商業高校の卒業生の現在の仕事ぶりが紹介され、高校で学んだことが将来に活かされていることがよく分かった。大学進学道もあり、これまでの専門高校の見方が変わった。」と、本イベントの意義を感じ取っていました。

### 大学連合体と県教委が連携協定締結

県教育委員会は、県内の大学・短大等26校で組織する「高等教育コンソーシアムにいがた」(会長＝高橋姿新潟大学学長)と8月10日、連携協力に関する協定を締結しました。



協定により、共同事業として各大学のオープンキャンパスの一括申込みサイト開設や高校生が大学の講義を受けられる「高校生のための大学フェア」等の実施を確認しました。

高井教育長は、「本県教育の基本理念である個を伸ばす教育を一層推進し、本県を担う人材の育成には、高大連携が必要不可欠。一層の連携を図り相互の教育活動の更なる活性化を図っていきたい。」と抱負を述べました。

高橋会長は、「県内に進学する人が増えれば、地元で就職する機会が増える。大学生自身が高校生に県内大学の魅力を伝える機会をつくりたい。」と意欲を語りました。

## 魅力ある高校づくりプロジェクト

高等学校教育課

### はじめに

県教育委員会では、生徒一人一人の個性と能力の伸長を図る「個を伸ばす教育」を推進するため、特色ある学校づくりに取り組んでいます。

平成24年4月に新津工業高校と新潟中央高校に新しい学科や専攻を、平成25年4月には国際情報高校に新しいコースを設置し、新津工業高校と新潟中央高校では、今春、1期生がそれぞれの夢や目標に向かって卒業しました。

本号では、各学校の具体的な取組と成果について紹介します。

### ピアニストとして世界の舞台を志す

#### ○ 新潟中央高等学校音楽科

##### ロシアンメソッド・ピアノ専攻

ロシアンメソッド・ピアノ専攻には、1年生21人、2年生7人、3年生9人の合計37人が在籍しています(音楽科1年生41人、2年生34人、3年生33人)。専攻生は、音楽を学ぶために最適な環境の中で、それぞれが世界で活躍する演奏家を目指して、モスクワ音楽院等の一流講師陣からの個別指導により合理的な演奏方法(ロシアンメソッド)を学んでいます。また、校内で年10回程度開催するロシア語講座では、ロシアの語学や文化、社会について理解を深めることができます。

同専攻の特色ある取組にはロシアンメソッド公開レッスン&コンサートとモスクワ研修旅行があります。公開レッスン&コンサートは、今回で9回目となります。新潟市の「りゅーとぴあ」で開催し、500人を超える多くの方々に来場していただきました。また、モスクワ研修旅行は、専攻生のうち希望者が参加します。昨年12月、モスクワ音楽院などを8人が訪れ、現地でのレッスンを受け、今年度も13人が参加する予定です。



【ロシアンメソッド公開レッスン】

#### 公開レッスン&コンサートの来場者アンケートより

- ・合理的で説得力ある指導で、短時間でも生徒の得るものは大きいと感じました。
- ・先生のポイントレッスンで、音がたちまち変わって驚きました。

今春初めて卒業した1期生26人のうち5人が音楽系の大学に進学し、その中にはモスクワ音楽院への留学を目標としている学生もいます。音楽科全体でも半数以上の生徒が、専門性を生かした進路を選択しました。今後も音楽との関わりをとおして、地域社会をはじめ国内外の文化の創造に貢献できる人材を育成していきます。

### 日本建築の匠を志す

#### ○ 新津工業高等学校日本建築科

日本建築科には、1年生31人、2年生29人、3年生18人の合計78人が在籍しています。生徒は、330㎡の広大な木造実習室で、「にいがたの名工」の認定を受けた熟練大工の先生から直接指導を受けています。1年生は、入学時に刃物の町与板で作られた大工道具一式(鋸、鑿、鉋など)を受け取り、それらの使い方や刃の研ぎ方を学びながら、伝統工法の技を習得します。2年生は、7月に全員が工務店などの建築関係の企業でインターンシッ



プ(3日間)を行うなど、実践力を養います。3年生は、実習の仕上げとして、実物・原寸の家造りに挑戦します。

1期生は、卒業制作として茶室「飛翔庵」を建築しました。1月の上棟式には多くの地域の方々に参加していただきました。現在、2期生が内装工事を引き継ぎ、今秋の完成を目指し制作を進めています。10月の文化祭では、お茶会を開催する予定です。



【卒業制作による茶室 飛翔庵】

また、同学科の生徒は、ものづくりの大会でも活躍しています。

・技能五輪愛知大会 (H26年11月)

1期生の涌井誠さんと岸優也さんが高校生ながら新潟県代表として出場

・全国削ろう会神戸大会 (H27年5月)

鉋削りの技能を競う大会において、2年生の皆川楓真さんが学生の部で優勝

今春卒業した1期生は、宮大工の見習いを含めて工務店などの建築関係の企業に17人が就職しました。また、文化財の修復を学ぶ大学や職能短大などにも7人が進学しました。それぞれの夢や目標に向かって歩み出した卒業生の今後のさらなる活躍を期待しています。

**国際社会で活躍するリーダーを志す**

○ 国際情報高等学校海外大学進学コース

国際情報高校には、国際文化科と情報科学科の2学科があります。いずれの学科からも、「海外大学進学コース」に進むことができます。このコースは、海外の大学に進学できる思考力や発信力を磨き、グローバル社会で活躍できる人材の育成を目指しています。

コース独自の科目「グローバルスタディーズⅠ・Ⅱ」では、ディベートやディスカッションを実施するなど、英語をツールとした密度の濃い授業が行われています。

6月には、アメリカのブラウン大学から3人の学生を当校に招き、ディスカッションを行いました。また、海外大学の様子や進学に向けた具体的な準備などについてアドバイスをもらいました。



【ブラウン大学の学生とのディスカッション】

来年3月に卒業する1期生は、来年秋の進学を見据えて準備を進めているところです。

また、国際情報高校は平成27年度から5年間、SGH(スーパーグローバルハイスクール)の指定を受けました(SGHは、将来、国際的に活躍できる人材の育成を図ることを目的とした文部科学省の事業です)。

**国際情報高校の研究開発テーマ**

雪国\*米どころ\*魚沼の世界発信を通じた人材育成 ~ 浦佐から世界へ ~

海外大学進学コースの上級生の取組に加え、SGHに関する活動により、1年生も良い刺激を受けています。今年度も、コースを希望する1年生を対象とした海外大学キャンパスツアー(米国ボストン)を10月に実施します。このツアーで、海外大学への進学に向けた意識が高まることを期待しています。

**おわりに**

県教育委員会では、子どもたちの夢や希望をかなえる学校づくりとして「魅力ある高校づくりプロジェクト」に引き続き取り組むこととしております。

# 郷土愛を軸としたキャリア教育の推進

－新潟県キャリア教育推進会議報告－

総務課

## はじめに

県教育委員会では、新潟県教育振興基本計画の柱の一つとして「郷土愛を軸としたキャリア教育の推進」を掲げ、小・中・高で一貫したキャリア教育を推進しています。なかでも、平成23年度より、キャリア教育の推進について協議するため、「新潟県キャリア教育推進会議」を開催しています。

今回は、7月15日（水）に開催した第1回会議の概要について紹介します。

## キャリア教育推進会議について

本会議は以下の委員により構成され、学校関係者はもとより、家庭、地域、産業界等が一体となって本県キャリア教育の推進について協議するため、毎年度2回開催しています。

【図1：新潟県キャリア教育推進会議委員一覧】

### 【座長】

新潟大学教育学部	教授	松井 賢二
----------	----	-------

### 【産業界】

新潟県農業協同組合中央会	専務理事	高橋 一成
(一社)新潟県商工会議所連合会	専務理事	遠藤 修司
(一社)新潟青年会議所	副理事長	那須野将幸
新潟県中小企業団体中央会	専務理事	藤巻 勉
(一社)新潟県建設業協会	専務理事	笠原 悟

### 【学校関係者】

新潟県小中学校PTA連合会	会長	堀川 義徳
新潟県高等学校PTA連合会	会長	野澤 裕朗
新潟県小学校長会	会長	近藤 朗
新潟県中学校長会	会長	早川 義裕
新潟県高等学校長協会	会長	石井 充

### 【行政機関関係者】

長岡市教育委員会	教育長	加藤 孝博
県産業労働観光部	部長	池田 幸博

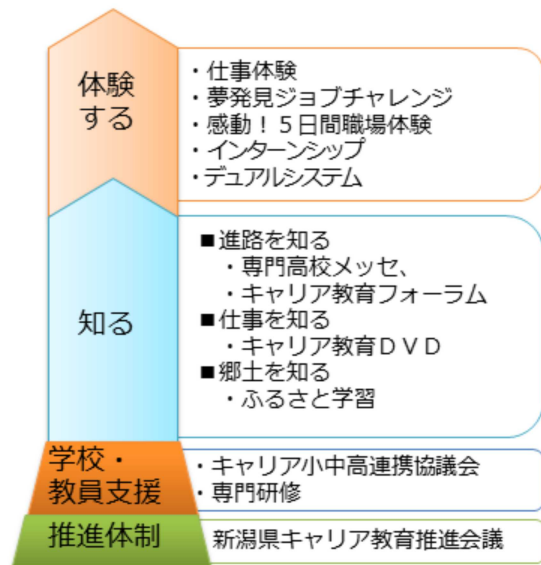
## 平成27年度第1回会議の概要

会議では、今年度のキャリア教育推進事業について説明するとともに、職場体験拡充に

ついて実践発表を基に意見交換を行いました。

1 平成27年度キャリア教育推進事業の概要  
会議では、事務局より昨年度のキャリア教育事業を以下の図により説明しました。

【図2：H26 本県キャリア教育推進事業の取組実績】



具体的には、「知る」「体験する」のステージを設け、各種事業を実施してきたことや、各校でのキャリア教育の取組を児童生徒一人一人のキャリア意識形成につなげるための仕組づくりが必要なことを説明しました。

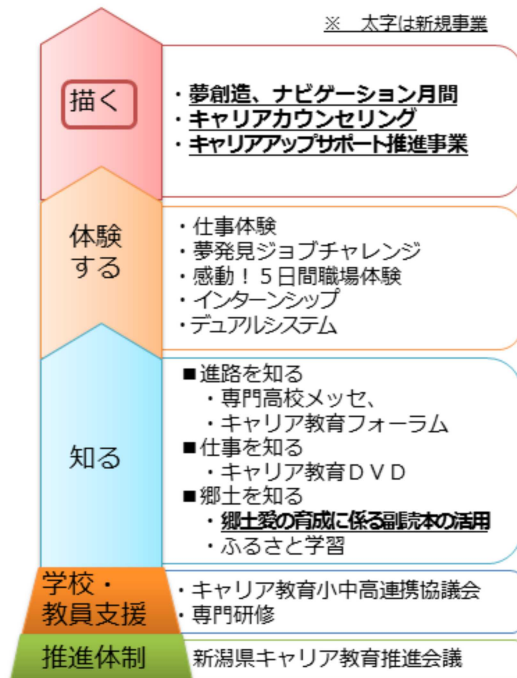
そこで、本年度の取組方向として、以下の図のように、「描く」ステージを追加し、児童生徒一人一人の夢の実現に向けた、キャリアカウンセリング（教師との対話による個別指導）を実施していくことを説明しました。

「夢創造、ナビゲーション月間」（小中）  
 昨年度全公立学校配付の「キャリア教育DVD」を視聴後、家族との対話週間実施  
 「キャリアカウンセリング」（小中）  
 夏季休業前の個別面談等と関連づけて、担任が児童生徒一人一人との対話を実施  
 「キャリアアップサポート推進事業」（高）



就職支援が必要な学校へキャリアアップサポーターを配置

【図3：H27 本県キャリア教育推進事業の取組方向】



## 2 職場体験の拡充について意見交換

意見交換に先立ち、職場体験実施校の実践発表を行いました。

胎内市立築地中学校の中村祐一校長からは、次のような報告がありました。

### 【職場体験概要】

- ・市内170事業所が職場体験に協力しており、1事業所へ中学生1人を派遣
- ・胎内市で「キャリア教育推進協議会」を組織し、協力事業所へのぼり旗を制作
- ・今年度より期間を3日から4日へ延伸
- ・職場体験Q&Aを作成（事業所向け）
- ・職業講話、マナー講習等事前学習を充実
- ・事業所へは校長が足を運び、情報交換

### 【職場体験によるメリット】

- ・事業所側は、中学生と働くことで職場が明るくなり、コミュニケーションが増加
- ・学校側は、教育活動の認知度アップ
- ・生徒は、学習へのさらなる意欲増加

また、県立新津高等学校の麩沢祐一校長からは、次のような報告がありました。

### 【インターンシップ概要】

- ・2年生全員対象に70事業所で1日実施
- ・中学校時よりも高度な仕事を体験
- ・全生徒に保険加入

### 【インターンシップによるメリット】

- ・生徒は、実施前「やってみたい」が66%だったが、実施後、「これからの目標が明確になった」「職業について視野を広げることが大切だと分かった」等、満足度が94%と増加。学校生活に意欲的
- ・事業所側は、地元企業を知ってもらえる
- ・学校側は、地域に対して学校の宣伝に

これらの実践発表を受けて、委員からは次のような意見が出されました。

- 企業側からは、学生の時から職業観を育むことが必要という意見が多い。職場体験では働く意義や将来の進路を意欲的に考えるようになったとの発表があった。改めて職場体験やインターンシップは重要な体験だと感じた。（産業界）
- 発表にあったような体験をとおして職業観や人生観を早期に感じられることは大切。県全体で気運が高まると、新潟がもっと活性化する。（学校関係者）
- 自分たちの時代と比べると職場体験は本当に重要。義務化してもいいくらいだ。自分の若いときにあったら本当に良かったと感じた。（行政機関関係者）

## おわりに

本会議で議論された各種事業の評価やこれからのキャリア教育の方向性等は、今後の本県キャリア教育推進事業に反映されています。県教育委員会では、多くの方々の御意見を反映させながら、本県キャリア教育を一層推進してまいります。

# インフォメーション

## ●県立近代美術館（長岡市） 「会田誠展 ま、Still Aliveって こーゆーこと」

会田誠氏は1965年に新潟市に生まれた日本を代表する現代美術作家です。1991年に東京藝術大学大学院美術研究科を修了後、ヨーロッパ、アメリカ、アジアでも個展を開催するなど、活躍の場は国内外多岐に渡ります。



本展では氏のライフワークとも言える巨大なダンボール作品《モニュメント・フォー・ナッシングⅡ》を中心に、本作に至るまでの新しい会田誠の世界を紹介します。

- 会 期 9月12日(土)～11月3日(火・祝)
- 休 館 日 9月14日(月)、28日(月)、10月5日(月)、13日(火)、19日(月)、26日(月)、11月2日(月)
- 開館時間 午前9時～午後5時  
(観覧券の販売は午後4時30分まで)
- 会 場 県立近代美術館 企画展示室
- 観 覧 料 一般1,000円(800円)  
高校・大学生800円(600円)  
中学生以下無料

※ ( ) 内は有料20名以上の団体料金です。

## 「コレクション展 第3期」

- 展示室1 「新収蔵品を中心に」
- 展示室2 「近代美術館の名品」
- 展示室3 「ヴァロトンの小さな仕事」  
(前期：～10月4日(日))  
「没後70年 ケーテ・コルヴィッツ」  
(後期：10月6日(火)～)
- 会 期 9月3日(木)～11月8日(日)
- 休 館 日 9月7日(月)、14日(月)、28日(月)、10月5日(月)、13日(火)、19日(月)、26日(月)、11月2日(月)
- 開館時間 午前9時～午後5時  
(観覧券の販売は午後4時30分まで)
- 会 場 県立近代美術館コレクション展示室
- 観 覧 料 一般430円(340円)  
高校・大学生200円(160円)  
中学生以下無料

※ ( ) 内は有料20名以上の団体料金です。  
※企画展開催中は企画展観覧券でコレクション展も御覧いただけます。

県立近代美術館では学校向けの教育普及プログラムを用意しています。詳しくは[こちら](#)を御覧ください。  
[年間スケジュールはこちら](#)

県立近代美術館  
住所 長岡市千秋3丁目278-14  
TEL 0258-28-4111  
URL <http://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>

## ●県立万代島美術館（新潟市） 「三宝院開創900年記念 世界遺産 京都・醍醐寺展」

平安の昔から桜の名所として知られ、豊臣秀吉が慶長3(1598)年に催した「醍醐の花見」でも有名な京都の名刹・醍醐寺。日本海側初の大規模展として、国宝《文殊渡海図》(後期展示)、重要文化財の快慶作《不動明王坐像》をはじめ、脈々と継承されてきた貴重な寺宝約70点を紹介します。

- 会 期 9月19日(土)～11月8日(日)
- 休 館 日 10月13日(火)
- 開館時間 午前10時～午後6時  
(観覧券の販売は午後5時30分まで)
- 観 覧 料 前売一般のみ1,200円(18日まで)  
当日一般1,400円(1,200円)  
高校・大学生1,200円(1,000円)  
中学生以下無料

※ ( ) 内は有料20名以上の団体料金です。



如意輪観音坐像(部分)  
平安時代(10世紀) 醍醐寺蔵

## 関連イベント

### ◆開会法要

- 日 時 9月19日(土) 午前10時～
- 会 場 万代島美術館展示室
- その他 要観覧券・申込不要

### ◆ギャラリートーク

- 講 師 仲田順英氏(醍醐寺執行総務部長)
- 日 時 9月19日(土) 午前11時～
- 会 場 万代島美術館展示室
- その他 要観覧券・申込不要

### ◆法要「醍醐の祈り」(真言宗醍醐派新潟宗務所寺院による)

- 日 時 9月28日(月) 午前11時～(20分程度)
- 会 場 万代島美術館展示室
- その他 要観覧券・申込不要

県立万代島美術館  
住所 新潟市中央区万代島5-1 朱鷺メッセ内  
TEL 025-290-6655 万代島ビル5階  
URL <http://banbi.pref.niigata.lg.jp/>

※ PDFファイルで御覧の方は、[下線部](#)(Webページアドレス)をクリックすると、  
直接該当Webページへジャンプしますので御活用ください。Webページでも御覧ください。バックナンバーも御覧になれます。「教育月報」で検索してください。

発行所 新潟県教育庁総務課  
所在地 〒950-8570  
新潟市中央区新光町4番地1  
電 話 025-280-5587 F A X 025-285-3766  
E-mail [ngt500010@pref.niigata.lg.jp](mailto:ngt500010@pref.niigata.lg.jp)  
Web版URL <http://www.pref.niigata.lg.jp/kyoikusomu/>  
\*\*本紙に関する御意見がありましたら、お寄せください\*\*  
<無断転載を禁ず>